

AED使用の手順

AED
Automated External Defibrillator



自動体外式除細動器

① AEDの到着と準備

心肺蘇生法を行っている途中でAEDが届いたら
すぐに使う準備を始めます。

可能であれば、**AEDの準備中も心肺蘇生を続けます。**
AEDを傷病者近くに置きます。



**AEDもってきました。
AED使います！**



AEDのふたを開け、電源を入れます。

ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。(AEDの電源を入れ、音声に従います)

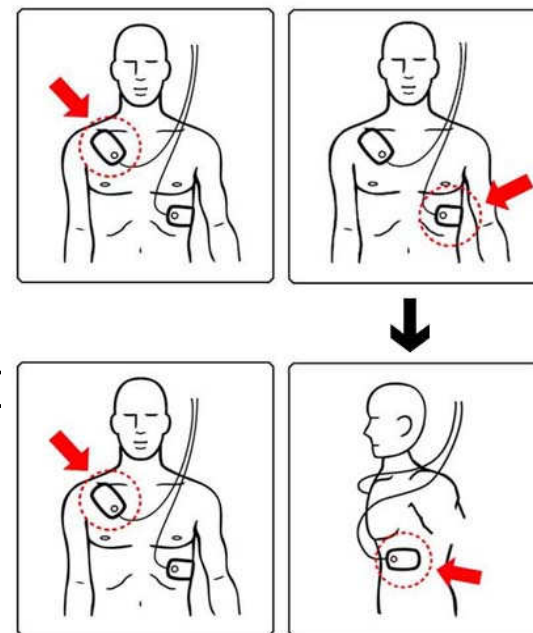
以降は、**音声メッセージと点滅するランプに従って操作します。**

② 電極パッドを貼る

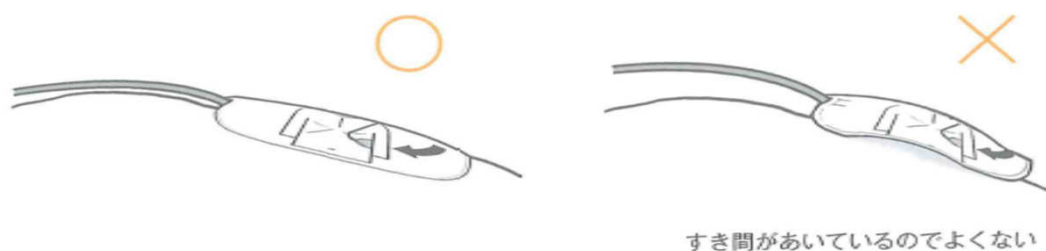
衣類を取り除き、胸をはだけます。

小学生以上には成人用の電極パッドを使用します。

電極パッドの袋を開封し、電極パッドをシールからはがし、胸の右上（右鎖骨の下）および左下（脇の5～8 cm下）に粘着面を絵のとおりしっかりと貼り付けます。



電極パッドは、肌との間に隙間を作らないようにして下さい。



貼り付ける際も可能であれば胸骨圧迫を継続してください。



※ 注意をはらうべき状況

1) 胸が濡れている場合

乾いたタオルで胸を拭いてから電極パッドを貼り付けましょう。



2) 貼り薬がある場合

電極パッドを貼り付ける位置に、貼り薬や湿布薬がある場合はそれを剥がし、残った薬剤をふき取ってから電極パッドを貼りつけます。

3) 医療器具が埋め込まれている場合

ペースメーカーなどが埋め込まれている場合、胸に硬いこぶのようなでっぱりが見えます。この出っ張りを避けて貼ります。



※ 小児用パッド（小児用モード）

未就学児の場合（小学校に入る前）に使用します

成人用と小児用の電極パッドが備わっている場合、それを使います。

小児用モードに切り替える機種もあります。

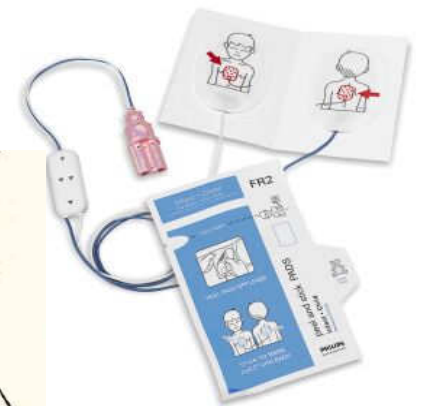
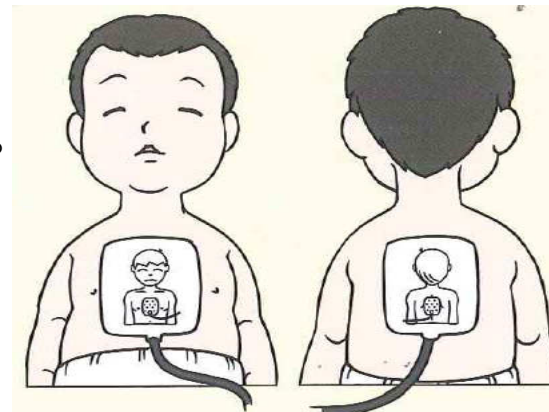
小児用パッドは乳児を含めた未就学児に使えます。

小児用パッドも小児用モードもない場合は、

成人用パッドを使用します。

電極パッドと電極パッドが重なりあったり、

触れ合わないよう注意します。



③ 心電図の解析

電極パッドを貼り付けると「体に触れないで下さい」などと音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まります。

このとき注意を促します。

誰も倒れている方に触れていないことを確認します。

みなさん
離れて下さい！！



AEDのメッセージに従って操作して下さい。

④ 電気ショックと心肺蘇生の再開

1) 電気ショック必要のメッセージが流れたら

AEDが心電図を解析して、
電気ショックが必要な場合は音声メッセージとともに、
自動的に充電を開始します。

充電が完了するとショックボタンが点灯し、
充電完了の連続音が出ます。

周囲の人に体に触れないよう声をかけて、

**自分を含めて誰も触れていないことを
必ず確認します。**

点灯しているショックボタンを押します。

電気ショックのあとは、

ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開します。

2) 電気ショック不要のメッセージが流れたら

AEDが心電図を解析して、電気ショックが不要の場合は
音声メッセージが流れます。

ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開します。



**ショックをします！
皆さん、離れて下さい！！**



**心肺蘇生を
続けます！**

⑤ 心肺蘇生とAED手順の繰り返し

心肺蘇生を再開して2分ほど経ったら、再びAEDが自動的に心電図の解析を行います。音声メッセージに従って体から手を離し、周りの人も離れます。

救急隊に引き継ぐまで
心肺蘇生とAEDの手順を繰り返します。

倒れた方が、普段どおりの呼吸をしはじめる、目的のある仕草があって、心肺蘇生をいったん終了できても、再び心臓が停止してAEDが必要になることもあります。

電極パッドは剥がさずに、電源も入れたままにしておいてください。

